

平和を学び、 考え、 発信しよう！



ふくやまピース・ラボ事業

2019年度活動報告集

福山市人権平和資料館



1年間の活動記録



活動報告は
こちらから♪



わたしたちと一緒に
活動しませんか♪



2019年	5月26日(日)	開講式, オリエンテーション
	6月 9日(日)	講義「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」
	6月30日(日)	フィールドワーク「福山市内戦争遺跡巡り」
	7月14日(日)	講義「福山空襲～8月8日に体験したこと～」
	8月 4日(日)	「第65回原爆・福山戦災死没者慰霊式」に向けて
	8月 5日(月)	「8月5日体験活動in広島」(広島市内)
	8月 8日(木)	「2019市民平和のつどい・第65回市民平和大会」 「第65回原爆・福山戦災死没者慰霊式」
	9月 1日(日)	「ピースラリー」に向けて①
	9月15日(日)	「ピースラリー」に向けて②
	9月29日(日)	「ピースラリー」に向けて③
	10月 6日(日)	「ピースラリー」に向けて④
	10月20日(日)	「ピースラリー」に向けて⑤
	11月 3日(日)	「ピースラリー」開催
	11月10日(日)	「ピースラリー」のまとめ 「人権・平和フェスタ」に向けて①
	11月17日(日)	「人権・平和フェスタ」に向けて②
	12月 1日(日)	「人権・平和フェスタ」に向けて③
	12月 7日(土)	「人権・平和フェスタ」リハーサル
	12月 8日(日)	「人権・平和フェスタ」本番
	12月15日(日)	「ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金」
	2020年	1月19日(日)
2月16日(日)		1年間の活動を振り返って「ピースアートの制作」②
3月 1日(日)		1年間の活動を振り返って「ピースアートの制作」③
3月15日(日)		修了式

(※3月1日及び3月15日は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止となりました。)

活動報告（全23回）



第1回（5.26） 開講式／ワークショップ

「平和について学び、考え、発信していこう！」と、ふくやまピース・ラボ5年目の活動がスタートしました！

集まったメンバーは「平和の大切さや福山空襲について学びたい。」「平和の大切さを学び、発信したい。」など、さまざまな思いをもって参加してくれました。

そして、学校や学年が違う仲間とのグループワークでは「ひとりでは想像できなかったアイデアがたくさん出てきた。」と、多くのアイデアが生まれました。これからの活動を通して、平和への想いを形にしていきます。

第2回（6.9）

講義

「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」

▶ 講師：北村 剛志さん
（元人権平和資料館副館長）



当時の写真や資料を用いて、なぜ、福山の街が空襲の標的となったのか、どのような経路で爆撃機が進入し、どのような爆弾が落とされたのか、戦時中の市民生活の様子（食糧不足、配給、学徒動員、学童疎開、服装）などを分かりやすく説明していただきました。

《感想》

- 多くの人が福山への愛を持ち、努力した結果が、復興、今の福山に繋がっていると思った。
- 今、友だちと笑いあったり、勉強したりできているのは当たり前ではないと改めて感じた。
- 過ちを繰り返さないために、若い世代が戦争の話を聞き、たくさんの人に伝えていくことが大切だと思った。



▶ 講師：佐道 弘之さん（元福山市文化財保護審議会会長）

第3回 フィールドワーク （6.30） 「福山市内戦争遺跡巡り」

「今伝えたいこと」というテーマで講義を受け、福山市内に今もなお残っている戦争遺跡巡りを行いました。

福山市人権平和資料館を出発し、備後遺族会館、慰霊碑、備後護国神社、防空壕跡（丸之内）、福寿会館（安部和助別邸）、福山城の順に説明を受けながら巡りました。この街で起きた悲惨な空襲のことを学び、感じる事ができました。

第4回（7.14）

講義

「福山空襲～8月8日に体験したこと～」

▶ 講師：森近 静子さん
（ふくやまピース・ナビ会員）



福山空襲を体験した時の様子（防空壕へ逃げ込んだ時の様子など）、戦前、戦中、戦後の暮らしについて衣食住の面から話をしていただきました。

《感想》

- 福山空襲を受けた苦しみや悲しみがとても伝わってきた。
- 「平和の祈りは親から子へ、子から孫へ受け継いでほしい」という言葉が印象に残った。
- 戦時中は最低限度の生活を営むことが大変で、自由な選択もできず、苦労していたことが分かった。

第5回（8.4） 「第65回原爆・福山戦災死没者慰霊式」に向けて



8月8日（木）17時30分から中央公園で行われる「原爆・福山戦災死没者慰霊式」で、昨年に引き続きふくやまピース・ラボのメンバーが「追悼のことば」を述べることになりました。

メンバーそれぞれが、平和への思いや願いを込めたメッセージを考え「ふくやまピース・ラボ」の今年のメッセージが完成しました。当日は、一人ひとりが考えたメッセージをリレー形式で繋いでいきます！

みんなで思いを込めて練習しました。



《行程》

8時20分 広島へ出発
 10時35分 旧日本銀行広島支店へ
 10時50分 袋町小学校平和資料館へ
 11時30分 広島平和記念資料館へ
 13時30分 「ヒロシマ青少年平和の集い」に参加
 17時10分 福山へ出発

第6回 (8.5) 「8月5日体験活動 in 広島」

平和記念式典を翌日に控えた8月5日、広島市で平和学習を行いました。午前中は被爆建物や広島平和記念資料館などを見学し、原爆の恐ろしさ、被爆の惨状を学びました。

そして、午後からは「ヒロシマ青少年平和の集い」に参加しました。広島市で活動している、中・高校生ピースクラブのメンバーによる原爆被害の概要説明を受けた後、全国から集まった同世代のみんなとディスカッションを行いました。「平和のために学び、行動している学生」が全国にいることを知り、これからの活動に向けて貴重な一日になりました。



第7回 (8.8) 「2019市民平和のつどい・第65回市民平和大会」運営スタッフ 「第65回原爆・福山戦災死没者慰霊式」参加



2019年8月8日、1945年8月8日の「福山空襲」から74年を迎えました。

世界の平和と人権の尊さについて考えることを目的に毎年開催されている「2019市民平和のつどい・第65回市民平和大会」に運営ボランティアとして参加しました。

また、17時30分からは「第65回原爆・福山戦災死没者慰霊式」に出席し、献花・追悼のこぼ・折り鶴の献納を行いました。「第65回原爆・福山戦災死没者慰霊式」では、「平和という毎日を大切にしながら、平和について学んでいきます。」

「戦後74年たった今だからこそ、次の世代へバトンを渡す懸け橋となるよう活動していきます。」
 「私たちが皆で協力し合い、もう二度と戦争がおこらないように、戦争は意味のない悲惨なものであることを伝えていけるよう、これからも活動を続けていきます。」

と追悼のこぼを述べました。メンバーそれぞれの熱い思いをまっすぐ、力強く伝えることができました。その後、集まった人たちは、折り鶴や折りばらなどを献納し、平和への誓いを新たにしました。

第8回・第9回・第10回・第11回・第12回 (9.1 / 9.15 / 9.29 / 10.6 / 10.20)

これまでの学習を生かし 「ピースラリー」開催に向けて

夏の行事が終わり、ふくやまピース・ラボ後半の活動が始まりました。これまで学んだことを生かし、多くの人に平和の大切さを発信するため、今年も「ピースラリー」実施に向け準備を始めました。「ピースラリー」では、福山城公園内の戦争遺跡をスタンプラリーという形で紹介し、福山空襲などについて理解を深めてもらうことを目的にしています。

11月3日の本番に向け、役割分担を行い、マップの作成、マップに押すスタンプ図案の作成や参加記念品づくりなど意見を出し合いながら準備を進めました。わかりやすいマップを描いたり、手作りの参加記念品を考えたり、参加してくださる皆さんに喜んでもらえるよう、みんなで協力して取り組みました。



第13回（11.3） ふくやまピース・ラボ企画！「ピースラリー」開催

今年の「ピースラリー」には、昨年を上回る306人の参加がありました。ピース・ラボのメンバーは多くの方に参加してもらうため、声掛けを行ったり、チラシを配ったりと一生懸命に活動しました。途中、天候が崩れたため、最後まで回れた方は少なかった様子でしたが「ピースラリー」を通して、福山に今なお残る戦争遺跡を知ってもらい、平和の大切さについて考えてもらうとともに、私たちの活動についても知ってもらうことができ、充実した一日となりました！

▼事前打合せ
（福山市人権平和資料館）



▼受付
（福山市人権平和資料館）



▼チェックポイント①
（備後護国神社・慰霊碑）



▼チェックポイント②
（防空壕跡）



▼チェックポイント③
（福寿会館・安部和助別邸）



▼チェックポイント④
（福山城石垣）



▼チェックポイント⑤
（福山城天守閣）



▼閉会式
（福山市人権平和資料館）



《ピースラリー参加者の感想》

- ・知らなかったことが多くあり、今までの学校の授業に加えて学べたので良かった。
- ・意識しないと学ぶことができないと思うので、今回のピースラリーに参加できて良かった。
- ・これからも活動を続けてほしい。
- ・防空壕跡を見て、日常のすぐ隣に戦争はあるのだなと感じた。
- ・戦争の跡の焼けた石や破壊された門、福山城の空襲で焼けた石垣を見て、戦争は絶対にしてはいけないと思った。
- ・近所に住んでいながら知らなかった事ばかりでとても勉強になった。
- ・説明してもらって初めて知った事があり、勉強をしなくてはと感じた。



第14回・第15回・第16回・第17回 「2019ふくやま人権・平和フェスタ」に向けて（11.10/11.17/12.1 / 12.7）（準備からリハーサルまで）



今年も「ふくやま人権・平和フェスタ」に参加しました。ふくやまピース・ラボは、ステージ発表と模擬店の出店を行いました。ステージ発表では、詩集『第二楽章 ーヒロシマの風 長崎からー』の朗読の発表を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さを発信することを目的に、本番までの準備期間が短く、全員揃っての練習が難しい中、本番に向け、メンバーそれぞれで練習を行いました。

前日のリハーサルでは、本番同様ステージに立ち、立ち位置やマイク位置などの確認しました。全員が揃うことはできませんでしたが、本番に向け、緊張感を持ち準備することができました。

また、昨年同様『ピースコーン』（ポップコーン）の販売も行い、収益金を寄付します。リハーサルを終えた後、ポップコーン作りの練習も行い、翌日の「ふくやま人権・平和フェスタ」に備えました。

第18回 (12.8) 「2019ふくやま人権・平和フェスタ」

今年の「ふくやま人権・平和フェスタ」には、ふくやまピース・ラボのメンバー11人で参加しました。

午前中は1階ロビーで『ピースコーン』(ポップコーン)の模擬店を出店し、みんなで協力して『ピースコーン』作りと販売を行いました。多くの方のご協力のおかげで完売した『ピースコーン』の収益金は、「ユニセフ」と「原水爆禁止運動福山推進連盟」に寄付することができました。

そして、いよいよ午後からはステージ発表に向けて準備を行いました。これまでメンバーそれぞれでの練習がメインだったため、全員揃って練習できたのは今日が初めてでした。本番直前まで朗読の練習や確認を行いました。ステージ発表では、詩集『第二楽章 ーヒロシマの風 長崎からー』の朗読を、心を込めて行い、会場のみなさんに思いを届けました。

自分たちだけでの活動では得られない経験をすることができ、今後の活動に活かせる一日となりました。



《参加したメンバーの感想》

- 去年は初めての参加だったので、じっくりと見るができなかったけど、今年は他の団体の展示物や活動を見ることで人権や平和について多くの人が考えているのだと改めて感じる事ができた。
- 『ピースコーン』が完売し、寄付がたくさんできてよかった。
- これまでの活動は、私たちピース・ラボだけの活動が多かったけれど、今回は他の団体の方々の人権や平和に対する活動を見ることができて、多くの人が人権や平和について考え行動していることを知ることができました。
- 詩の朗読では、セリフは短かったが、表現するのが難しかった。ステージ発表後に「よかったよ。」と感想をもらえて嬉しかった。



ふくやまピース・ラボ
イメージキャラクター「ピきゅう」

第19回 ユニセフ「ハンド・イン・ハンド募金」 (12.15) ボランティア参加

広島県ユニセフ協会の「ハンド・イン・ハンド募金」に参加しました。世界には、5歳の誕生日を迎えることなく命を落とす子どもが年間530万人もいるそうです。

「すべての子どもに生きるチャンス」というスローガンのもと、幼い子どもの命を守るための支援を呼びかけました。募金して下さる方から温かい言葉もかけていただき、みなさんに励まされながら活動することができました。

たくさんのご協力、ありがとうございました！



第20回・第21回・第22回・第23回
(2020.1.19/2.16/3.1/3.15)

ピースアート2019の制作



わたしたち「2019ふくやまピース・ラボ」の1年間の活動の様子を記録した写真と平和へのメッセージ写真を組み合わせピースアートを制作しました。ピースアートのデザインは、メンバーそれぞれが考えたものの中から投票で決定しました。わたしたちの活動を多くの方に知ってもらおうと心を込めて制作しました。完成したピースアートは、今年も「まなびの館ローズコム」のエントランスホールに展示予定です。

〈展示期間〉2020年3月30日(月曜日)～5月7日(木曜日)

(※第22回(3.1)及び第23回(3.15)は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止となりました。)

2019ふくやまピース・ラボの活動を終えて



松脇 汐音 (福山暁の星女子中学校1年)

私は、戦争や福山空襲の話聞き、今でも苦しんでいる人がたくさんいることを学びました。

私は、小さなことでも力になり助け合いながら生きていきます。平和という毎日を大切にしながら平和について学んでいきます。



開原 弓喜 (福山暁の星女子高校3年)

私は、ふくやまピース・ラボや高校生平和大使などの平和活動を通して、福山空襲や原爆に目を向けつつ、戦後74年たった今だからこそ、次の世代へバトンを渡す掛け橋となるように、一層恒久平和の実現をめざす活動に携わっていきたいです。



林原 伊吹
(広島大学附属福山高校1年)

すべての人が
心から笑えるように！



鈴木 克幸
(大門中学校2年)

HAPPY and PEACE



金子 愛佳
(尾道北高校1年)

みんながみんなを
幸せにする世界を



川西 満葉 (福山暁の星女子高校1年)

私は、今年度初めてふくやまピース・ラボに参加しました。

福山空襲を体験された方のお話を聞いたり、福山の空襲跡地を散策したり、初期の活動では「平和」について「考えさせられる」ことが多かったです。しかし、夏に参加した「ヒロシマ青少年平和の集い(広島市)」でのディスカッションで、自ら平和について「考える」機会を得たことで「平和について考えること」がより身近になりました。

今年度の活動を通して平和について「自ら」考える力を身に付けることができました。「平和」は私たちにとって永遠の課題です。一人でも多くの方が平和について「自分ごと」に考えることができる世界になることを願います。



佐々木 琴子 (福山暁の星女子高校1年)

私は、ふくやまピース・ラボに参加して、改めて平和はどれほど大切なものなのかを考えることができました。

私は他県の小学校に通っていたため、中学校に入ったときに平和教育の差というものを感じました。たくさん知らないことがあったけれど、ピース・ラボでの経験を通して、今では人に説明することができるくらいになれたと思っています。他県との平和教育の差を知っているからこそ出来ることがあると思います。

私は、まず自分の身近な人を幸せにする努力をした上で、もっと平和について知ってもらえるようにこれからも活動を続けていきたいです。



羽原 涼太 (福山高校1年)

今年度、僕は二年目のピース・ラボでの活動になりました。高校生になり、あまり多くの活動に参加できませんでしたが、去年と違う体験をさせていただきました。

その中でも特に印象深かった出来事は、平和について様々な都県の中・高校生と話し合ったことです。原爆について多くの方がもっと知ろうとしている姿を見て、心打たれたのと同時に、自分ももっと学習すべきことがあるということ学びました。

戦争を経験された方々が少なくなっていくのを肌で感じ、自分たちが取り組むべきことも増えていくように思います。これからも、平和活動に努めていきたいです。



谷口 結萌 (福山暁の星女子中学校1年)

私は、ふくやまピース・ラボでたくさんの貴重な活動をする中で、今過ごしているご飯のある日常、学校に行ける日常などの日常が当たり前ではないことを実感することができました。

私がこのことを特に実感することができた活動は、「原爆・福山戦災死没者慰霊式」、「ピースラリー」、「ふくやま人権・平和フェスタ」に参加した時です。この3つの活動に共通する所は、実際に練習や準備をして、発表をし、発信した所です。このような発信する活動を通して、改めて命が尊く、平和が大切であることを実感しました。私は、戦争が悲惨な出来事だと思っているだけで深いところまでをピース・ラボに参加するまでは知りませんでした。

このように戦争を経験していない若い世代の人達は、戦争のことを知れていません。なので若い世代の人達に平和の大切さを発信しなければいけないと思います。これからももっと発信できるようにこのピース・ラボの活動を続けていきたいと思っています。



《FMふくやまでのラジオ収録の様子》



梶原 百恵 (福山高校1年)

今年度のふくやまピース・ラボの活動を終えて、改めて私たち若い世代が、悲惨な戦争の歴史を正しく学び、後世に伝えていく事の大切さを感じています。

今年は、戦後の福山がどのように復興していったのかなどのお話をお聞きする事が多くありました。福山空襲を心にとめ、平和な未来へ向け、考えて生活していきたいと思います。

戦後75年を迎えようとするなかで、日々さまざまな問題がでてきます。私たちに何が出来るのか、このピース・ラボの活動だけでなく、他の所でも活かしていけるようにしていきたいです。



梶川 紗夢 (福山暁の星女子高校1年)

ふくやまピース・ラボの活動では、普段学ぶことができない福山の歴史はもちろん、空襲や戦争について学習することができました。

5月、6月には実際に福山空襲を体験された方のお話を聞きました。実際に話された方の中には涙ぐまれている方もおり、今度は私たちがこの方々の体験を後世に伝えていかなければならないという強い決意が湧いてきました。後世に伝えていくために、私たちが出来ることは何かを考え、行動を起こしていきたいです。



藤井 杏香 (福山葦陽高校2年)

今年で4年目になったピース・ラボの活動も、新しいメンバーと協力しながら活動できました。ふくやま人権・平和フェスタでの発表が印象的でした。今年は、詩の朗読を行い、原爆の凄まじさをみんなで表し、伝えることができたと思います。

平和な日々がずっと続くように、平和の大切さを伝え続けていきたいと思いました。



桑田 衣里

私は今年度で4年目の活動になります。今年私にとって色々な変化があった年でした。その中でも変わらずにラボの活動ができた事は良い経験になりました。

今後は、学びの幅を広くしたり、もっとこの地域の歴史や文化を広め、地元の人に愛され、好かれる地域を創造していきたいと思っています。

その為にも、ラボの他にも個人で学習し、できることから始めて、いずれは人にきちんと教えられたいと思っています。この一年に感謝を。



谷口 世玲奈 (川崎医療福祉大学1年)

戦争は、一度にたくさんの命を奪う悲惨なものです。私たちは、悲しい戦争があったと過去を振り返るだけではなく、もう二度と戦争がおこらないようどうすればよいのかを考えるべきだと思います。

私たちが皆で協力し合い、もう二度と戦争がおこらないように戦争は意味のない悲惨なものであることを伝えていけるよう、これからも活動を続けていきたいと思っています。



記憶に残そう



未来のために

発行 2020年3月
編集 福山市まちづくり推進部人権・生涯学習課
〒720-8501
広島県福山市東桜町3番5号
TEL (084) 928-1006
FAX (084) 928-1229